

メディア表現III

13.マスク・キーイング・ロトスコープ

目次

1. 最終課題について
2. 今日のトピック
 - i. マスク
 - ii. キーイング
 - iii. ロトスコープ

初めに

前回のおさらい

- ヌルオブジェクト
- 3Dカメラ

最終課題について

今後の予定

- 13回目：7/7
- 14回目：7/14
- 15回目：7/21
- 定期試験：8/1-8/6

最終課題の締切日は7/31とします。

最終課題について

以下の二つの課題をNASに提出してください。(smb://nas1-mc.thu.ac.jp, 2022演習-メディア表現III-最終課題提出-学籍番号フォルダ)

1. MOGRTを作成せよ。

10回目の「モーショングラフィックステンプレートの制作」を参考にオリジナルのMOGRTを作成せよ。AE,MOGRTの両ファイルを提出すること

2. モーショングラフィックスをテーマを選択して作成せよ

8,9,11,12回目からテーマを選択し、オリジナルのモーショングラフィックスを作成せよ。複合でももちろん構わない。AE,MP4の両ファイルを提出すること

最終課題の狙い

Premiere/AfterEffectsの表現力を上げることがこの演習の狙いです。

Premiereに関して学んだことに関しては、映像デザイン演習で役立ててください。

最終課題に関してはAfterEffectsに絞って課題設定しました。

どうしてもよく理解できていない人は、授業中に提示した動画を参考に作成してみてください。

今日のトピック

マスク・キーイング・ロトスコープ

マスク・キーイング・ロトスコープ

今日は、映像合成のために、どのように切り抜くかということについて説明していきます。

マスク > キーイング > ロトスコープ

と進むにつれ、技術の進化を感じぜざるを得ませんが、使えるツールはどんどん使っていきます。

最終的には、どの技術を利用するか、の判断が必要となります。

マスク

マスク

マスクは、エフェクトや設定の見える範囲を決めるものです。
マスクを作ることを「マスクを切る」とも言います。

円・長方形・ペンツールを利用して設定します。

パスの使い方慣れていない人は、
[ペンツールで描くベジェ曲線をマスターする](#)
でおさらいをしておきましょう。

参考

[使えなきゃヤバい！マスクの基礎と使い方3選！！](#)
[マスクについて -作成・編集・用途-](#)

Premiere/AfterEffectsでのマスク

Premiere

- 映像を隠す場合には不透明度のマスクを使います。
- エフェクトのかかる範囲を指定する場合には、エフェクトを追加して、エフェクトのマスクを使います。
- マスクは複数設定することもできます。

AfterEffects

- レイヤーを選択した状態で、長方形ツールやペンツールなどでパスを制作することでマスクを使えます。
- マスクは複数設定することもできます。
- 複数設定できると、マスクの範囲の演算も使うことが可能です。

マスクのキーフレーム

マスクにキーフレームを使うことができます。

つまり、動かすこともできるということですね。

ただし、マスクするものが動いていると、1フレームずつ設定していかないとダメですね。

マスクトランジション

マスクの動きをうまく使うことでこんなこともできます。

プレミアプロでできるマスクトランジションの編集方法

キーイング

キーイングとは？

映像編集技術の一つで、色・明暗などの成分から画像や映像の一部を抜き出すことです。クロマキーとも言われます。

ブルーバックとグリーンバック

キーイングには青・緑の背景を使って撮影することが多く、それぞれブルーバック・グリーンバック(ブルースクリーン・グリーンスクリーン)と呼ばれます。

ブルーバック

- アジア人の肌色に合う
- 十分な光量が必要

グリーンバック

- 弱い光の環境でも撮影可能
- シワや折り目がつきやすい

グリーンバックとブルーバックの違い

グリーンバックとブルーバック:どちらが良いですか

撮影の仕方

均等な緑をいかに作るかが非常に重要なポイントです。

- シワを伸ばす
- 照明を均等に当てる

この二つに気をつけましょう。

また

- 被写界深度を被写体全体にピントがくるように設定

しましょう。境界がボケていると綺麗に抜くことができなくなります。

編集時に後悔することになります。

意外と簡単にできるグリーンバック撮影3つのポイント

撮影のコツ

なんでも簡単にできそうですが、いろいろ考えないとうまく抜けません。
ヒントになりそうな動画貼っておきます。

- グリーンバック合成撮影の基本！安易に手を出すとケガをする？！クロマキーで失敗しないための動画講座！
- グリーンバックで大切なのは人物ライティング【クロマキー合成】

編集方法

Premiere

- Ultraキーが今は一般的
- キーカラーを設定
- 出力をアルファチャンネルにして綺麗に抜けているか確認
- マットの生成・クリーンアップのパラメーターで調整
- スピルサプレッションは映り込んだ緑色を抑えることができる

AfterEffects

- KeyLightを使用
- Screen Colorを設定
- ViewをStatusにして抜け方を確認
- パラメータはUltraキーより多いのでいろいろ調整が必要

グリーンバック 綺麗に抜くには

スピルとは、撮影対象に緑の影がかかってしまうことを指します。これは、撮影時の光量が多すぎるために起こる現象です。

PremiereではUltraキーに入っていますが、
AfterEffectsでは

- Key Cleaner(ブロックノイズなどに有効)
- Advanced Spill Suppressor(スピルの除去)

と併用すると良いでしょう。

マスクとキーイングの併用

キーイングする場合には、被写体の周りだけ綺麗に切り抜ければよく、それ以外はマスクも併用することをお勧めします。

練習ファイル

授業中にはやらないですが、ここから試してみることができます。

[グリーンバックの映像素材の問題点をすばやく修正](#)

参考

【Premiere Pro】 動画背景を透明にする Ultraキーの使い方 【初心者向け】
グリーンバック合成基本テクニック（標準エフェクトのみ） 【After Effects チュートリアル】

ロトスコープ

ロトスコープとは？

1.アニメーションの技法

実写映像をベースにしてアニメーション映像を作り上げる技法。

実写の動きをトレースすることでリアルなアニメーションを制作することができますが、膨大な時間がかかります。

代表的なアニメーション

- 【公式】 悪の華 第一回 【特別公開】
- 花とアリス殺人事件

2.動画編集の技法

動画からエレメントを切り取り、実写映像に追加します。

AfterEffectsを利用すれば、グリーンバックを利用しなくても、合成することができます。

デジタルロトスコープでのビデオエレメントの融合

- 背景からオブジェクトを分離
- 不要なオブジェクトを置き換える

AfterEffectsでのロトスコープの使い方

- ロトブラシツールで動画の一部を切り抜く方法
- ロトブラシツールで動くマスクを作成する方法
- コンテンツに応じた塗りつぶしを使って不要な要素を取り除く方法

とりあえず、どのようなことができるかを知っておきましょう。

最後のが、「撮影時にいない人が写り込んでる」などの時に利用できると思います。

時間があれば、やってみたいのにトライしてみましょう。

まとめ

さまざまなツールを駆使して、映像の合成を使いこなせるようになりましょう。

デジタルツールが進化したと言っても「映像をうまく合成できるか」にはやはり経験がいります。

合成する映像が光の方向が異なったりすると、なかなか馴染んではくれません。

合成する場合には、撮影からいろいろたくらむ必要があります。

ぜひ挑戦してみてください。